



ライム

レモンよりももっと寒さに弱いライム。気温が2℃以下になる地域では栽培がむずかしいようです。それでも、炭酸水やカクテルに添えると風味が良くておしゃれなライム。ぜひ、育てたいですね。耐寒性のある早生の品種を、日当たりのいい室内でぜひ。



ゆず

奈良時代に中国から渡来した、ゆず。縁起物として、永く日本人に親しまれてきました。大樹のイメージもありますが、日当たりさえよければ鉢植えでも実ります。うまく剪定と水やりを学んで、楽しく育てましょう。



実れば、食べられる

うれしい!かんきつ類のガーデニング

アーバン花紀行。すっかりおなじみのガーデンカレッジ、今回はかんきつ類。鉢植えを中心に話します。花も実も楽しめて、なんだか楽しいかんきつ類。育て方も、そんなにむずかしくないのが魅力です。さあ、甘酸っぱい経験、はじめましょう!



レモン

育てるかんきつ類の中ではトップクラスの人気。地域ぐるみで育てて、街の名物にしようという試みもあります。寒さに弱いので、鉢植えにして、寒い日は室内へ入れます。たっぷりの水と日光で育てます。果実は熟す前に収穫するほうが鮮烈です。



温州みかん

日本原産のみかん。その代表品種です。果実は小ぶりで育てやすく。西日と強い風だけ気をつければ、他のかんきつ類よりは、比較的寒い地域でも元気です。収穫は10月～12月。色づく頃が目安です。鉢植えでも大丈夫です。



すだち

おしゃれな観葉植物としても人気のすだち。「巢立ち」に通じ、お祝いギフト植物にもなっています。鉢でインテリア・グリーンとして育てましょう。優しい日当たりの場所で。水やりはたっぷりと。毎日よく見てムシを見たら取り除きましょう。

かんきつ類の育て方

かんきつ類がかかりやすい病害虫

■アゲハチョウの幼虫
発生時期: 4～10月
葉を食べるので、見つけたらすぐに捕殺しましょう。



■かいよう病
かいよう病は柑橘類に見られる病気で、果実や葉・枝などあらゆる箇所に発生します。気孔や傷口から菌が侵入することで感染します。早めに薬剤散布しましょう。



土質は水はけと水もちのバランスがよい土で。



赤玉土 7 : 腐葉土 3 の割合にするか、市販の果樹用培養土に植えるとよいでしょう。

お日様と水と肥料は欠かさずに!



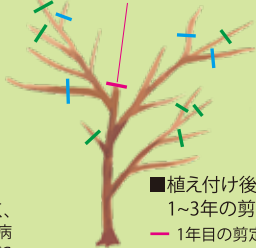
かんきつ類は日当たり、排水、温度管理が大事



春から秋は日当たりと風通しがよく、雨が直接当たらない場所に置くと病害虫が発生しにくいです。冬は-5℃を下回らない場所に置きましょう。

剪定しないと実がつきにくい柑橘類

主幹を地面から30～40cmの高さで切り戻します。



■植え付け後
1～3年の剪定
— 1年目の剪定
— 2年目の剪定
— 3年目の剪定

★カンキツ類は寒さにやや弱く、越冬中に一定の気温を下回ると枝が枯れ始めます。種類によって耐えられる気温は異なるので、お住まいの地域の気温に応じた種類を選んでください。鉢植えで育てれば、置き場を工夫することで冬の寒さから株を守ることができます。

作業カレンダー	冬			春			夏			秋		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ライム	収穫	元肥	植え付け	開花	追肥				追肥	収穫		
すだち		元肥	植え付け	開花	摘果				収穫	追肥		
ゆず		元肥	植え付け	開花	追肥	摘果			追肥	収穫		
温州みかん		元肥	植え付け	開花	追肥	摘果				収穫		
レモン	収穫	元肥	植え付け	摘果	追肥	摘果	追肥			収穫		

★葉が枯れ始める気温 ゆず＝-7℃ すだち＝-6℃ 温州みかん＝-5℃ レモン＝-3℃ ライム＝-2℃
★冬場はしっかり防寒対策をしてください。

倉敷、岡山、玉野に16ホール、裏面もご覧ください。

アーバンホール 葬儀・法要・ギフト